

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月23日

計画の名称	霊峰白山から日本海に至る白山市の自然・文化・伝統・歴史を繋いだまちづくり												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	石川県, 白山市												
計画の目標	<p>白山市は、交通利便性が高く、行政等の公共施設が集約する『平野部』と、霊峰白山の麓に広がる自然環境や多くの観光施設を有する『白山ろく地域』に大別される。</p> <p>本計画により、平野部においては、交通利便性の高いIC周辺・鉄道駅周辺で土地区画整理事業を実施することで、無秩序な開発を抑制、適正な土地利用を誘導するとともに、下水道をはじめとするライフラインを整備し、住宅地・工業団地・観光誘客施設を集約形成することで、職住近接による雇用機会の拡大が図られ、就業者および人口の流出防止かつ交流人口の拡大が促進される。</p> <p>同時に、白山ろく地域においては、既存資源に磨きをかけることで平野部からの交流人口を拡大し、白山ろく地域の居住者が平野部で就業先を確保することにより、人口流出を抑制し地域活力の維持が図られる。</p> <p>広域合併した一体の都市として、地域特性に応じたまちづくりを実施する方針であり、都市機能拡散防止を図りながら、既存の交通体系を活用して特徴ある各地域の多様性を繋ぎ、市全域への人の流れを創出することで、活力あるまちづくりを目指す。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,419	A	2,419	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H29末	H31末
1	地域特性に応じたまちづくりにより、広域合併した一体の都市として都市機能拡散防止を図りながら、既存の交通体系を活用して特徴ある各地域の多様性をつなぎ、市全域への人の流れを創出することで、活力あるまちづくりを目指す。 観光入り込み客数の増加 白山市における観光入り込み客数	5291520人/年	5324000人/年	5356000人/年
2	白山市内の雇用機会の拡大 白山市内の事業所における就業者数	52112人	52200人	53800人
3	下水道整備率の向上 新たに市街化される区域の下水道整備率	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	石川県	間接	土地区画整 理組合	区画	改築	白山市松任北安田南部地 区	区画整理 A=13.7ha	白山市	■	■	■	■	■	860	—	
	A01-002	街路	一般	石川県	間接	土地区画整 理組合	区画	改築	白山市横江町地区	区画整理 A=48.4ha	白山市	■	■				500	—	
												小計						1,360	
下水道事業	A07-003	下水道	一般	白山市	直接	—	管渠（ 污水）	新設	北安田污水幹線外	φ=200mm L=3.3km	白山市	■	■	■	■	■	159	—	
	A07-004	下水道	一般	白山市	直接	—	管渠（ 污水）	新設	横江污水幹線外	φ=200mm L=2.2km	白山市	■	■	■	■	■	105	—	
												小計						264	
都市再生整備計画事業	A10-005	都市再生	一般	白山市	直接	白山市	—	—	鶴来地区	A=267.8ha	白山市	■	■	■	■	■	474	—	



事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
白山市において評価を実施	事業完了後
	公表の方法
	石川県、白山市ホームページで公開

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松任北安田南部地区及び横江町地区の土地区画整理事業の整備により道路や公園がされ、合わせて企業の誘致により、人口定住の受け皿や雇用の確保ができた。</li> <li>・土地区画整理事業と併せて污水幹線の整備により、ライフラインの確保や生活環境の向上となった。</li> <li>・開山1300年を迎えた年間70万人が来訪する白山比咩神社へのアクセス道路の整備やサイクリングロードの駅として旧加賀一の宮駅舎の再整備等により交流人口拡大の促進が可能となった。</li> <li>・重要伝統的建造物群保存地区に選定された白峰地区では、無電柱化等の整備により防災や景観の向上が見られた。</li> </ul>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業による面的整備により商業施設などの企業の進出の促進が図られ、保留地販売も好調であり区域内の定住人口の増加が図られた。</li> <li>・白峰地区においては、無電柱化により重要伝統的建造物群保存地区として景観の相乗効果が図られた。また、まちづくりシンポジウムにより、景観やまちづくりに取り組む地元の方や学識者により市外へ整備効果や今後の取組などの発信を実施した。</li> <li>・鶴来地区においては、年間70万人を訪れるという白山比咩神社への来訪者や自転車を利用した観光客をターゲットとして道路整備や旧加賀一の宮駅の駅舎や周辺整備の実施により、鶴来市街地の徒歩による散策やサイクルマップの活用により自転車を利用する観光客が多くなり、空き家を活用したカフェなどの出店の増加もみられ交流人口の増加を目指す事業の効果が見られた。</li> </ul>

○特記事項（今後の方針等）

想定される事業

- ・白峰地区においては、雪だるま祭などの住民と連携したイベントの継続
- ・鶴来地区においては、まちづくり協議会により地元主体のまちづくりを継続し、地元作家によるキャラクターを利用したイベントなどを実施することにより交流人口の拡大を図る。
- ・松任北安田地区においては、新駅の整備により、駐車場、駐輪場の整備、路線バス、コミュニティバスの交通ネットワークの創出
- ・横江町地区においては、商業施設や企業、市と連携し「白山の森プロジェクト」により様々なイベントを実施し市内外へ世界ジオパークやSDGsの普及発信を実施していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	白山市における観光入り込み客数		
	最終目標値	5356000人／年	観光地の中ではくさん街道市場（旧まっとう車遊館）の平成30年の閉鎖に伴いH26年に年間120万人あった利用者が無くなったことが要因である。
	最終実績値	4298860人／年	
2	白山市内の事業所における就業者数		
	最終目標値	53800人	土地区画整理事業により道路網の整備や人口定住の受け皿が確保できたことと、周辺の企業誘致や市内の工業団地への企業の精力的な進出により雇用の確保ができたことにより、就業人口が増加がみられた。
	最終実績値	54992人	
3	新たに市街化される区域の下水道整備率		
	最終目標値	100%	土地区画整理事業の道路整備と併せて汚水幹線の整備を実施することで効率的に整備ができた。
	最終実績値	100%	